

学生の修学支援（国際文化学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜・総合型選抜の合格者を対象に、高校3年の12月から「入学前準備教育」として、高校卒業時まで身に付けておくべき学習事項の振り返りと確認を行っています。英語文化コースでは基礎的な英語力を定着させるための通信講座、グローバル歴史文化コースでは世界史の基礎知識の定着と文章を要約する力の伸長を目的とした通信講座、多文化協働コースではコミュニケーション力を養成するための受講を課し、入学後の学修へのスムーズな移行を支援するための組織的な取り組みを行っています。

◆新入生への履修ガイダンス

入学時に履修ガイダンスを行い、ディプロマ・ポリシーと履修系統図、カリキュラム・マップ、履修モデル、卒業要件と履修登録単位数の上限（CAP制）、単位の認定とGPA制度、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

特に新入生に対しては、大学での学修への心構えや学生生活における授業の位置付けを説明します。あわせて、研究倫理教育を実施しています。

また希望者には、実際にパソコンを利用して、Webからの履修登録方法や大学からの情報提供のためのツールである「KGUポータル」、授業支援システム「manaba」の使用方法等を説明しています。

◆在学生への履修ガイダンス

春学期と秋学期のオリエンテーション期間に履修指導を行っています。1年次の秋学期以降は成績表を直接配付し、各自の学修状況を確認させています。

なお、履修登録については、Web履修登録システムを導入しており、学生は学内外のPCやスマートフォン等から履修登録を行うことができます。

◆履修登録相談会

主に新入生に対して、教員や学生ボランティアスタッフ（学生メンター）による履修相談を行っています。履修要綱や時間割表、シラバス、履修モデルをもとに、授業時間割の作成やWeb履修登録システムの操作方法等のアドバイスをしています。

◆新入生導入教育科目

1年次春学期に「基礎ゼミナール」「KGUキャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ」を設置しています。

「基礎ゼミナール」では少人数クラス（10名前後）で、レポートの書き方や資料の整理方法、プレゼンテーションの技術、パソコン・図書館の利用等、大学での学修に必要な基本的な知識やスキルを集中的に学びます。

「KGUキャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ」では、関東学院大学の建学の精神や自校史を学び、グループワークやグループディスカッションを通して、関東学院大学生としての自覚と責任、学生生活の過ごし方を自ら考え、行動するきっかけをつくる授業です。本

科目では、卒業後のキャリアを意識した4年間の学生生活をデザインし、「自己実現力」と「他者とかかわる力」を高めていきます。

◆学部・学科ガイダンス

大学での4年間の学びや将来のイメージを形成するため、新入生オリエンテーションにおいて、学部・学科での学びや行事を紹介しています。学部ガイダンス「Enjoy Campus Life!」では、上級生を中心に学部・学科における学びの特長や正課・正課外の活動を紹介します。各種学科ガイダンスでは、各担当の教職員により、学修、学生生活、国際交流、就職等に関する案内を行っています。

◆アドバイザー制度

1・2年次には、10名前後の学生に1名の専任教員がつくアドバイザー制度によって学修に関する相談やアドバイスを行っています。3・4年次には、学生が所属するゼミナールの担当教員が、指導教員となります。毎学期、アドバイザー集会またはゼミナール集会を開催し、学修面だけでなく、大学生活全般のサポートも行っています。

◆教員オフィスアワー

学生による授業に関する質問や相談を受けつけるために、すべての授業について、担当教員によるオフィスアワー制度を設けています。時間、場所等はシラバスに掲載し、公開しています。

◆履修状況確認面談

各学期のオリエンテーション期間中に、アドバイザー、ゼミナール指導教員、学科長による学修支援のための相談やアドバイスを行っています。

また、留年が生じた場合には、学科長や教務主任、教務課職員が卒業要件（必要単位数）や今後の履修計画などの相談に応じています。

学生の修学支援（社会学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜・総合型選抜の合格者を対象に、高校3年の12月から「入学前準備教育」として、社会・歴史・文化の分野の教材に変えて、全ての課題を小論文とし、入学後に必要となる基礎科目の復習及び文章力の強化を行っています。

◆新入生への履修ガイダンス

入学時に履修ガイダンスを行い、ディプロマ・ポリシーと履修系統図、カリキュラム・マップ、履修モデル、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

特に新入生に対しては、教務主任より、大学での修学への心構えや学生生活における授業の位置付けを説明します。また、あわせて研究倫理教育を実施しています。

また希望者には、実際にパソコンを利用して、Webからの履修登録方法や大学からの情報提供のためのツールである「KGUポータル」の使用方法等を説明しています。

◆在学生への履修ガイダンス

春学期と秋学期のオリエンテーション期間に、修学上必要な事項について説明を行い、履修指導を行っています。

なお、履修登録については、Web履修登録システムが導入されており、学生は学内外のPCから履修登録を行うことができます。

◆履修登録相談会

主に新入生に対して、教員や学生ボランティアスタッフ（学生メンター）による履修相談会を行っています。履修要綱や時間割表、シラバスを参考に授業の組み方やWeb履修登録システムの操作方法等のアドバイスをしています。

◆新入生導入教育科目

1年次春学期に「基礎ゼミナール」「KGUキャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ」を設置しています。

「基礎ゼミナール」は少人数クラス（約10～15名）で、レポートの書き方や資料の整理方法、プレゼンテーション能力、パソコン、図書館の利用等、大学での修学に必要な基本的な能力やスキルを集中的に学びます。

「KGUキャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ」は、関東学院大学の建学の精神や自校史を学び、グループワークやグループディスカッションを通して、関東学院大学生としての責任や学生生活の過ごし方を自ら考え、卒業後を意識した4年間の学生生活をデザインし、「自己実現能力」と「他者とかかわる力」を高めていきます。

◆学科指導

新入生オリエンテーション期間中の学部ガイダンスにおいて、大学での4年間の学び

や将来のイメージを形成するため、教員や上級生による修学や学生生活のアドバイスを
行っています。

1年次の秋学期以降は成績表を配付して各自の修学状況を確認させ、必要に応じて専任
教員が履修指導を行っています。

◆アドバイザー制度

1・2年次には、約10～15名の学生に1名の専任教員がつくアドバイザー制度に
よって修学に対する相談やアドバイスを個々に受けることができます。また、アドバイ
ザー集会を開催するなど修学面だけではなく、大学生活全般のサポートも行っています。

◆専門ゼミナール説明会&相談会

社会学部は専任教員全員がゼミナールを担当しています。学生は教員の研究テーマやゼ
ミナールの雰囲気にも直接触れることで、約20のゼミナールの中から自分が入りたいゼミナ
ールを探すことができます。

なお、ゼミナールの選択を適切に行えるよう、2年次の秋学期オリエンテーション時に専
門ゼミナール説明会を開催するとともに、例年11月に行われるゼミナール発表会への参加
を推奨しています。

◆教員オフィスアワー

学生による質問や相談を受けつけるために、教員によるオフィスアワー制度が設けら
れています。時間、場所等についてはシラバスに掲載され、公開されています。

◆履修状況確認面談

各学期のオリエンテーション期間中に、学科長、アドバイザー担当教員、ゼミナール
指導教員による学修支援のための相談やアドバイスをしています。

また、留年が生じた場合には、学科長や教務主任、教務課員が卒業要件（必要単位数）
などの相談にのっています。

学生の修学支援（経済学部）

◆入学前準備教育

総合型選抜、有資格者特別入試合格者を対象に、入学前年度12月から「入学前準備教育」として、「文章表現法」を課し、入学後に必要となる文章力の強化を行います。

◆新入生ガイダンス

教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法やスケジュール等について、入学時にオリエンテーションを行い詳しく説明します。オリエンテーション期間中は学生諸団体による勧誘活動も多く行われます。

◆在学生ガイダンス

1年次の秋学期から4年次の秋学期まで、毎年、春学期および秋学期のはじめに、Web成績表を公開し、履修指導を行っています。

◆履修説明会

春学期の授業開始前に、新入生を対象に履修説明会を行い、教員のアドバイスの下、履修要綱及びクラス分け一覧表を使って、卒業要件や履修方法を確認しながら、履修登録科目を選定し、時間割を作成します。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、履修登録や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

◆新入生導入科目

1年次の登録必須科目として春学期には、「基礎ゼミナール」、「経済学入門」、「KGUキャリアデザイン入門1・2」、秋学期には、「プレゼミナール」を設置し、レポートの書き方や今後の履修方法、大学での過ごし方などを学び、今後の大学生活及び学修に必要な基本的能力やスキルを学びます。

◆教員オフィスアワー

学生ポータルサイト掲載のシラバスに、科目ごとに教員オフィスアワーを掲載し、授業時間以外の質問や相談に対応しています。

◆成績不振者面談

春学期及び秋学期のオリエンテーション時に、一定の単位修得基準を満たしていない学生に対して教員が面談を行い、今後の履修相談や生活指導などを行っています。

◆専門ゼミナール説明会&相談会

2年次進級のオリエンテーションで、教員と学生による専門ゼミナールの説明会を開催します。経済学部は専任教員全員がゼミナールを担当しています。学生は教員の研究テーマやゼミナールの雰囲気直接接触れることで、自分が入りたいゼミナールを探することができます。

学生の修学支援（経営学部）

◆新入生オリエンテーション

教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、履修登録の方法やスケジュール等について、入学時にオリエンテーションを行い説明します。オリエンテーション期間中は学生諸団体による勧誘活動も多く行われます。

◆在学生オリエンテーション

1年次の秋学期から4年次の秋学期まで、毎年、春学期および秋学期のはじめに、Web成績表を公開し、新たな学期を迎えるに当たり、修学上必要な事項についての説明を行います。

◆履修説明会

春学期の授業開始前に、経営学部専任教員が新入生を対象に履修説明会を行います。卒業要件や履修モデルを確認しながら、履修計画を立てます。

◆履修や資格取得に関する個別相談

教務課では、履修や資格取得に関する個別相談を随時受け付けています。

◆新入生導入科目

1年次の登録必須科目として春学期には、「基礎ゼミナール」、「K-biz ベーシック 1」、「KGU キャリアデザイン入門 1・2」、秋学期には、「K-biz ベーシック 2」を設置し、レポートの書き方や今後の履修方法、大学での過ごし方などを学び、今後の大学生活及び学修に必要な基本的能力やスキルを学びます。

◆教員オフィスアワー

学生ポータルサイト掲載のシラバスに、科目ごとに教員オフィスアワーを掲載し、授業時間以外の質問や相談に対応しています。

◆成績不振者面談

春学期及び秋学期のオリエンテーション時に、一定の単位修得基準を満たしていない学生に対して教員が面談を行い、履修指導や生活指導などを行っています。

学生の修学支援（法学部）

▼ 入学前準備教育

総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）の合格者には、大学入学後の学修に備え、高校3年の1月から「入学前準備教育」を実施しています。大学入学までの期間に、文章表現力、現代社会などを中心に、大学での講義に必要な基礎的な知識を高め、4月からの大学での講義にスムーズに入れるようにします。

▼ 新入生オリエンテーション

入学時のオリエンテーションで、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、履修登録の方法などの講義にかかわる事柄の他、学内のインターネットの利用方法、学生生活にかかわること、取得可能な資格なども、詳しく説明します。

▼ 在学生オリエンテーション

すべての学生を対象に、毎年、春学期と秋学期のはじめに成績表を Web 開示し、新たな学期を迎えるにあたり、修学上必要な事項についての説明を行います。

▼ オリエンテーション時履修・生活相談

春学期と秋学期のオリエンテーション期間に、専任教員による履修・生活相談会を行っています。学生に対し、単位修得状況やコースの選択、卒業後の進路、取得したい資格などに応じて、履修要綱・シラバス・授業時間割表を利用し、履修登録や学生生活に関するアドバイスをを行っています。

▼ 履修相談や資格取得に関する個別相談

履修登録やコース登録、ゼミナール登録、資格取得等の修学に関する相談、奨学金制度等の経済的支援に関する相談等、学生生活に関するさまざまな相談の個別対応を随時行っています。

▼ 初年次導入科目

1年次の導入科目として、「大学入門ゼミナール」「KGU キャリアデザイン入門1」「KGU キャリアデザイン入門2」「KGU キャリアスタディ」「法学の基礎」「民法入門」の他、法学科では「コース入門」、地域創生学科では「地域創生概論」を開講しています。

また、大学や学部の特徴に応じ、「キリスト教学」「憲法1」「憲法2」「民法総則1」「刑法総論1」も、1年次に全員が履修する科目として設置されています。

▼ 教員オフィスアワー

授業期間中にはオフィスアワーを設定・公開し、履修者に対する問合せ対応や学修指導を随時行っています。

▼ 学生面談

全学年の春学期開始時と秋学期開始時に、一定の単位修得基準を満たしていない学生を対象として、所属ゼミナール教員を中心とした専任教員による個別面談を実施しています。面談では成績状況の確認から今後の履修についてのアドバイスなどを含めて、面談する学生に応じた対応をとっています。

学生の修学支援（理工学部）

◆入学前準備教育

推薦入試や総合型選抜入試など12月の段階での入学予定者に対して英語、数学、理科、国語のeラーニングを実施しています。

◆プレイスメントテストによる習熟度別クラス編成

入学時に数学、英語、物理（物理はコースによる）の3科目のプレイスメントテストを実施し、数学、英語、物理関連科目ではその結果に基づいた習熟度別のクラスの編成を行っています。数学では、基礎学力を身につける必要がある学生については、「数学基礎 I」、「数学基礎 II」の履修対象者として履修の推奨を行い、専門課程へと進む際の基礎学力習得の支援を学部として実施しています。

◆新入生オリエンテーション

入学時に、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について、新入生全員を集めて全体オリエンテーションを実施しています。その後、学系、コースごとに分かれ、詳細な説明をしています。

◆在学生オリエンテーション

春学期および秋学期開始時に学系、コースごとのオリエンテーションを実施しています。成績表を配付する際には、必ず学生ひとりひとりに対して、教員と一緒に成績を確認し、履修指導をおこなっています。新たな学期を迎えるに当たり、修学上必要な事項についての説明に加えて、学生生活や就職・進学問題など、修学時期に即した指導もおこなっています。

◆新入生履修相談受付

新入生の希望者に対して、コースごとの履修モデル、履修要綱と時間割表を元に履修科目を選定し、時間割表を作成します。教員のアドバイスを受けることもできます。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、履修登録や免許・資格取得に関する個別相談を随時おこなっています。

◆新入生導入科目

資料の調べ方、レポートの書き方、プレゼンテーションのテクニックなど、大学での学修において必要となることを学ぶ「(各学系の) 入門セミナー」、専門的な学びに向けての土台となる「(各学系の) 入門プロジェクト」を導入科目として開講しています。高校とは違

った学びのスタイルを身につけて、その後の専門教育に備えます。

また、これらの科目では、常識や社会人としてのマナーの習得を始め、専門的な情報収集方法やまとめ方、レポートの書き方、プレゼンテーションスキルなど初年次におけるキャリア科目としての役割も果たしています。

◆学系、コース指導

各Semester（春学期、秋学期）開始時に各学系・コースにてオリエンテーションを実施し、当該Semesterに必要な指導や実験・実習に必要な教材などの案内もおこなっています。

新入生に対しては、学系・コースの行事や4月の授業科目への出席状況を確認し、教務委員を中心に対応を行います。また、Semester毎に修得単位の基準を設け、その基準に満たない学生に対し、保証人に対して通知の上、面談を実施しています。各学系では学系長、教務委員を中心として随時学生の学習や就職に対する指導もおこなっています。

また、3年生からは卒業研究担当教員が、研究の内容だけでなく就職支援も含め総合的に学生の個別指導をおこなっています。

◆教員オフィスアワー

オフィスアワーをシラバス内で公開し、学生に周知しています。

◆クラス担任制度

1年生に関しては、「(各学系の) 入門 세미나」や「(各学系の) 入門プロジェクト」の担当教員（各教員が10名程度の学生を担当）がクラス担任としての役割を果たしています。また、学生にとっては、卒業研究担当教員が決まるまでの2年間のチューターとしての役割も担っています。さらに、各学系の学系長、教務委員は学生の教務、学生生活上の窓口になっています。また、各学系には3人程度の就職担当を配置し、卒業研究指導教員と一緒に学生就職支援をおこなっています。

学生の修学支援（情報学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜や総合型選抜など12月の段階で入学予定となった学生を対象として、大学入学後の学修に円滑に移行できるよう入学前準備教育を実施しています。

本学部では、情報学を学ぶための基礎となる英語、数学、情報Ⅰを中心としたeラーニング教材を用い、高校までに学習した内容の振り返りと基礎学力の定着を図っています。特に情報Ⅰで扱う情報社会、データ活用、アルゴリズムとプログラミング等の基礎事項を確認し、大学での情報学の専門教育に円滑に接続できるよう支援しています。

◆プレイスメントテストによる習熟度別クラス編成

入学時に英語、数学および物理のプレイスメントテストを実施し、その結果に基づき習熟度別のクラス編成を行っています。

数学については、基礎学力を補強する必要がある学生に対して「数学基礎Ⅰ」「数学基礎Ⅱ」の履修を推奨し、専門科目を学ぶために必要となる基礎学力の定着を図っています。

◆新入生オリエンテーション

入学時に新入生オリエンテーションを実施し、教育課程の目的、授業科目の体系、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、卒業要件、履修登録の方法、取得可能な資格等について説明しています。

また、新入生が大学生活を円滑に開始できるよう、在学生、教員、助手との交流の機会としてフレッシュャーズミーティングを実施しています。フレッシュャーズミーティングでは、学生同士の交流を深めるとともに、大学での学びや学生生活について理解を深める機会としています。

◆履修指導・履修相談

履修登録期間には、履修要綱、シラバス、履修モデル等を基に教員による履修指導を行い、学生が自身の興味・関心や将来の進路に応じた履修計画を立てられるよう支援しています。また、情報学部学習支援室では履修登録や資格取得に関する個別相談を随時受け付けています。

◆新入生導入科目

1年次には大学での学修の基礎を身につけるための導入科目として「情報学基礎セミナー」および「情報学基礎プロジェクト」を開講しています。

「情報学基礎セミナー」では、PCの基本操作、学内システム（メール、manaba等）の利用方法、文書作成の基礎、図書館の利用方法、生成AIの適切な活用方法を学び、情報リテラシーおよび文書作成能力を身に付けます。また、企業人による講演や教員の研究紹介を通して、情報分野の社会的役割および研究の意義について理解を深めます。

「情報学基礎プロジェクト」では、グループによる課題解決型学修を通じて、課題の発見、調査、分析、発表までの一連のプロセスを経験し、問題解決能力やコミュニケーション能力、主体的に学ぶ姿勢を養います。

◆在学学生オリエンテーション

在学学生に対しては、春学期および秋学期の開始時にオリエンテーションを実施し、履修方法、学修上の注意事項、進路・就職に関する情報等について説明しています。

また、学生の成績状況や履修状況を確認しながら履修指導を行い、適切な履修計画の作成を支援しています。

◆コース指導

本学部では学修プログラムという位置づけで4コースを設け、学生の興味・関心や将来の進路に応じた専門分野の学修を可能としています。

各学期のオリエンテーション時にはアドバイザーである教員との面談を実施し、履修状況や学修の進捗、将来の進路などを確認しながら履修指導を行っています。

学生はその面談結果を踏まえ、半期ごとにコースの変更を行うことが可能であり、自身の関心や適性に応じて専門分野を柔軟に選択できるようになっています。

◆アドバイザー制度

情報学部では、少人数の学生を教員が担当するアドバイザー制度を設けています。

1・2年次では「情報学基礎セミナー」や「情報学基礎プロジェクト」の授業およびオリエンテーションにおける履修指導をアドバイザーが担当し、学修相談や学生生活に関する相談などに対応します。

3年次以降は卒業研究の指導教員が学修指導を担当し、研究指導だけでなく進路や就職に関する助言も含めた総合的な指導を行っています。

◆卒業研究指導

3年次春学期から研究室に配属され、指導教員のもとで卒業研究を行います。研究活動を通じて専門知識を深化させるとともに、課題設定能力、問題解決能力、論理的思考力、発表能力などを総合的に養成します。また、研究室では進路相談や就職活動に関する指導も行っています。

◆教員オフィスアワー

学生からの授業内容や学修に関する質問・相談に対応するため、すべての授業科目について担当教員のオフィスアワーを設けています。

オフィスアワーの時間および場所はシラバスに掲載し、学生に公開しています。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、履修登録や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

学生の修学支援（建築・環境学部）

◆入学前準備教育

指定校推薦や総合型選抜での入学予定者を対象として国語、英語、数学、物理の4科目について実施します。建築・環境学部で作成したオリジナル教材を主に、大学によるeラーニング教材「Classi」を併用したオリジナルプログラムです。建築・環境学への関心にも応えられるように工夫された教材となっており、高校では主に文系科目を履修してきた人も、大学で建築・環境学を学ぶにあたり、自身の学力を再確認できます。

◆新入生オリエンテーション

新入生オリエンテーションを2日間に渡って実施し、これから4年間を共にする教員との出会いの機会と教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について分かりやすく解説する場としています。また、一人の教員に対して10名程の学生で「アドバイザーグループ」をつくります。このグループは新入生向けに学修上の個別相談や、フレッシュャーズミーティングでの活動を行うもので、これから4年間共にする仲間でもあります。学内施設見学ツアーではアドバイザーグループ単位で、デザインスタジオや製図室を始め、構造実験室、設備工学研究所などの主要な教育・研究施設を巡ります。

◆フレッシュャーズミーティング

新入生全員を対象として毎年行われている、全員参加の行事です。これから共に過ごしていく仲間や教員との親睦と連携を深めることを目的としています。最近では「関内スケッチラリー」と題して、アドバイザーグループ単位で横浜・関内地区を巡り、教員と一緒に横浜を代表する新旧の名建築をスケッチし、それを教員や新入生全員で講評し合う企画も行います。昨年度は、「横浜開港記念会館」を基点に関内周辺の散策・スケッチを行い、楽しいひと時を過ごしました。作品のコンペを行い、優秀作が大スクリーンで紹介されると学生たちは盛り上がり、一気に互いの距離が近づきます。

◆新入生履修相談受付

新入生の希望者は教員のアドバイスを受けながら、モデル時間割と履修要綱、時間割表をもとに履修科目を選び、自分の学修目的に合った時間割表を作成することができます。

◆新入生導入科目

「理工学概論」では建築・環境学部での学びの導入編として、デザイン、構造、材料・施工、環境・設備の4つの分野から、建築・環境学の全体像を解説します。

「建築設計製図Ⅰ」及び「建築設計製図Ⅱ」では、建築・環境学を学ぶための基礎となる、建築図面の作図および読図のスキルを身につけます。基本的な作図（線表現）から模型やパースを作成し、プレゼンテーションの技術まで修得します。

「建築計画・デザイン基礎」「建築構造基礎」「建築生産・構法基礎」「建築環境・設備基礎」の4科目は、建築・環境学の各専門分野の導入として位置づけられています。

◆文系学生への学修支援

高校時代に理系科目を履修していなかった、あるいは苦手だった学生のために、「基礎数学I, II, III」など、建築・環境学を学ぶことに特化した、基礎的な数学系科目を設置しています。物理I [B]では、苦手とする学生が多い力学の分野を初歩的などころから学ぶことができます。

◆在学生オリエンテーション

春学期および秋学期の始めに、オリエンテーションを行います。新たな学期を迎えるにあたって、当該セメスターにおいて学修上必要な事項や上級年次への準備について説明します。

1年の時に組まれたアドバイザーグループ毎に、1年生から4年生まで4年間を通じて同じ教員から成績表が配付され、学修状況全体を見据えた適切なアドバイスを受けます。

履修に不安のある学生には教務委員等が中心となって時間割の組み立てなどのサポートを行っています。

◆学科指導

各学期でのオリエンテーションに加えて、3年生からは学修や卒業研究に向けた指導に加えて就職支援も含めた、総合的な個別指導が行われます。また、実験・実習に必要な教材なども適宜案内します。

◆生活指導と就職支援

学生生活に関わる授業の履修（時間割の組み立て、卒業研究など）、資格取得などについては、教務委員が窓口となっています。また就職担当の教職員を配置し、卒業研究指導教員と連携して学生の就職支援を行います。企業を招いて学科独自の就職セミナーも催しています。

◆授業における新型コロナウイルス感染症対策

対面授業については、製図室、スタジオ等において衛生環境（手指消毒、換気励行等）の確保に留意し、密にならないような空間を維持し実施しています。オンライン授業については、教員は講義特性にあった会議システムを選択的に使用する他、学生の発言や参加機会を設ける工夫を随所で行い対面授業と遜色の無いように教育指導に努めています。また、両者においてmanaba（クラウド型教育支援システム）の各種機能（レポート提出、小テスト等）も併用し、学習効果が向上するように工夫しています。

◆**教員オフィスアワー**

オフィスアワーを KGU ポータルのシラバスにて公開し、学生に周知しています。また、教員の E-mail を公開し、オフィスアワー以外の時間帯でも学生からの質問や相談を受ける体制を整えています。

◆**履修相談や免許・資格取得に関する個別相談**

教務課では、履修登録や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

◆**成績不振者面談**

新入生については建築設計製図や理工学概論等の必修科目や学科の行事等で、4月中の出席状況を確認しています。教務委員が中心となり、欠席日数やレポートの提出状況を把握し、面談を行っています。また、全員が履修する建築設計製図Ⅰ（春学期）、Ⅱ（秋学期）をセンサー科目として、学生個人への目配りの機会と位置付けており、提出物や出欠席状況への細かな目配りにより、問題の早期発見、解決を目指します。

2年生以上の成績不振者に対しては、欠席日数やレポートの提出状況を把握し、 Semester毎に教務委員が中心となり面談を行い、適切な学修支援を行います。学期中でも面談を希望する学生からの申し出があれば随時、教務委員を中心に対応して、問題の早期解決に努力します。また、面談には可能な限り対象学生のアドバイザー教員が同席することに努めています。

学生の修学支援（人間共生学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜や総合型選抜など 12 月の段階での入学予定者に対して、探究型学習及び、コミュニケーション学科：英語、国語、地歴総合、共生デザイン学科：国語における e ラーニングを実施しています。

生徒一人ひとりの学習進行度や理解度に応じて、学習内容や学習レベルを調整して提供する仕組み（アダプティブラーニング）を採用。

進捗の悪い生徒への連絡やメールによる質疑応答対応窓口を設置するなど、学習意欲を向上させるための取り組みを工夫しています。

◆新入生履修オリエンテーション

入学時のオリエンテーションでは、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

◆在学生履修オリエンテーション

毎年、春学期および秋学期のはじめに行われる在学生オリエンテーションでは、新たな学期を迎えるにあたり、修学上必要な事項についての説明を行っています。

◆履修登録相談会

学生支援室では、学生ボランティアスタッフ（学生メンター）が新入生を対象にした履修相談を行っています。履修要綱や時間割表、シラバス等を参考に授業の組み方や Web 履修登録システムの操作方法等までアドバイスをしています。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課窓口では、履修登録、ゼミナール登録、免許・資格取得に関する個別相談を随時受け付けています。

◆新入生導入教育科目

1 年次春学期に必修科目として「教養ゼミナール」を設置しています。専任教員の指導のもと、少人数クラス（10 名前後）で基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力等、大学での修学に必要な基本的なスキル及び姿勢を身につけます。

◆学科指導

入学時から 4 年次まで、各学期のはじめに専任教員による学科指導を行っています。学生は将来の進路や興味に応じた科目選択が出来るよう所属学科での修学について理解を深めます。

また、1 年次秋学期以降は専任教員が学生一人ひとりに成績表を手渡し、各学生の修学状況に応じて指導・アドバイスをしています。

◆アドバイザー制度

10 名前後の学生を 1 名の専任教員が担当するアドバイザー制度を設けています。

学生は修学に対する相談やアドバイスを個々に受けることができるほか、アドバイザーミーティングへの参加等を通じて、修学面だけではなく、学生生活面のサポートも受けることができます。また、学修の進行に応じて、各種専門アドバイザーを設置しています。

◆**教員オフィスアワー**

授業期間中には教員によるオフィスアワーを設け、履修者からの質問や相談を受け付けています。時間、場所等についてはシラバスに掲載され、公開されています。

学生の修学支援（栄養学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜や総合型選抜など 12 月の段階での入学予定者に対して、化学と生物における e ラーニングを実施しています。

生徒一人ひとりの学習進行度や理解度に応じて、学習内容や学習レベルを調整して提供する仕組み（アダプティブラーニング）を採用。

進捗の悪い生徒への連絡やメールによる質疑応答対応窓口を設置するなど、学習意欲を向上させるための取り組みを工夫しています。

◆新入生履修オリエンテーション

入学時のオリエンテーションでは、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

◆在学生履修オリエンテーション

毎年、春学期および秋学期のはじめに行われる在学生オリエンテーションでは、新たな学期を迎えるにあたり、修学上必要な事項についての説明を行っています。

◆履修登録相談会

学生支援室では、学生ボランティアスタッフ（学生メンター）が新入生を対象にした履修相談を行っています。履修要綱や時間割表、シラバス等を参考に授業の組み方や Web 履修登録システムの操作方法等までアドバイスをしています。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課窓口では、履修登録、ゼミナール登録、免許・資格取得に関する個別相談を随時受け付けています。

◆新入生導入教育科目

1 年次春学期に必修科目として「教養ゼミナール」を設置しています。専任教員の指導のもと、少人数クラス（約 10 名）で基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力等、大学での修学に必要な基本的なスキル及び姿勢を身につけます。

◆学科指導

入学時から 4 年次まで、各学期のはじめに専任教員による学科指導を行っています。学生は将来の進路や興味に応じた科目選択が出来るよう所属学科での修学について理解を深めます。

また、1 年次秋学期以降は専任教員が学生一人ひとりに成績表を手渡し、各学生の修学状況に応じて指導・アドバイスをしています。

◆アドバイザー制度

1クラス約50名の学生を1名の専任教員が担当するアドバイザー制度を設けています。学生は修学に対する相談やアドバイスを個々に受けることができるほか、アドバイザーミーティングへの参加等を通じて、修学面だけではなく、学生生活面のサポートも受けることができます。

◆教員オフィスアワー

授業期間中には教員によるオフィスアワーを設け、履修者からの質問や相談を受け付けています。時間、場所等についてはシラバスに掲載され、公開されています。

学生の修学支援（教育学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜や総合型選抜など 12 月の段階での入学予定者に対して、国語、数学、英語における eラーニングを実施しています。

生徒一人ひとりの学習進行度や理解度に応じて、学習内容や学習レベルを調整して提供する仕組み（アダプティブラーニング）を採用。

進捗の悪い生徒への連絡やメールによる質疑応答対応窓口を設置するなど、学習意欲を向上させるための取り組みを工夫しています。

◆新入生履修オリエンテーション

入学時のオリエンテーションでは、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

◆在学生履修オリエンテーション

毎年、春学期および秋学期のはじめに行われる在学生オリエンテーションでは、新たな学期を迎えるにあたり、修学上必要な事項についての説明を行っています。

◆履修登録相談会 学生支援室では、

学生ボランティアスタッフ（学生メンター）が新入生を対象にした履修相談を行っています。履修要綱や時間割表、シラバス等を参考に授業の組み方や Web 履修登録システムの操作方法等までアドバイスをしています。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課窓口では、履修登録、ゼミナール登録、免許・資格取得に関する個別相談を随時受け付けています。

◆新入生導入教育科目

1 年次春学期に必修科目として「教養ゼミナール」を設置しています。専任教員の指導のもと、少人数クラス（約 10 名）で基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力等、大学での修学に必要な基本的なスキル及び姿勢を身につけます。

◆学科指導

入学時から 4 年次まで、各学期のはじめに専任教員による学科指導を行っています。学生は将来の進路や興味に応じた科目選択が出来るよう所属学科での修学について理解を深めます。

また、1 年次秋学期以降は専任教員が学生一人ひとりに成績表を手渡し、各学生の修学状況に応じて指導・アドバイスを行っています。

◆アドバイザー制度

約10名の学生を1名の専任教員が担当するアドバイザー制度を設けています。学生は修学に対する相談やアドバイスを個々に受けることができるほか、アドバイザーミーティングへの参加等を通じて、修学面だけではなく、学生生活面のサポートも受けることができます。

◆教員オフィスアワー

授業期間中には教員によるオフィスアワーを設け、履修者からの質問や相談を受け付けています。時間、場所等についてはシラバスに掲載され、公開されています。

学生の修学支援（看護学部）

◆入学前準備教育

学校推薦型選抜や総合型選抜など 12 月の段階での入学予定者に対して、国語、数学、生物における e ラーニングを実施しています。生徒一人ひとりの学習進行度や理解度に応じて、生徒への連絡やメールによる質疑応答対応窓口を設置するなど、学習意欲を向上させるための取り組みを工夫しています。

◆新入生履修オリエンテーション

入学時のオリエンテーションでは、教育課程の目的、授業科目の体系、卒業要件、取得可能な資格、履修登録の方法等について詳しく説明しています。

◆在学生履修オリエンテーション

毎年、春学期および秋学期のはじめに行われる在学生オリエンテーションでは、新たな学期を迎えるにあたり、修学に必要な事項についての説明を行います。

◆学科指導

入学時から 4 年次まで、各学期のはじめに専任教員による学科指導を行っています。

学生が学部（学科）の教育方針および教育研究上の目的を正しく理解できるよう、また学生がカリキュラムを正しく理解し、学修計画を立てることができるように、指導します。また、1 年次秋学期以降は専任教員が学生一人ひとりに成績表を手渡し、各学生の修学状況に応じて指導・アドバイスを行います。

◆履修登録相談会

学生支援室では、学生ボランティアスタッフ（学生メンター）が新入生を対象にした履修相談を行っています。履修要綱や時間割表、シラバス等を参考に時間割の組み方や Web 履修登録システムの操作方法等までアドバイスをします。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課窓口では、履修登録、免許・資格取得等に関する個別相談を随時受け付けます。

◆アドバイザー制度

約 10～15 名ごとの学生グループを編成し、それぞれに 1～2 名の専任教員および助手が担当するアドバイザー制度を設けています。学生は修学に関する相談やアドバイスを個々に受けることができるほか、アドバイザーミーティングへの参加等を通じて、修学面だけではなく、学生生活面のサポートも受けることができます。

◆教員オフィスアワー

授業期間中には教員によるオフィスアワーを設け、履修者からの質問や相談を受け付けています。時間、場所等についてはシラバスに掲載され、公開しています。